

## 1. 開催概要

1. まちづくり目標について
2. 意向調査の結果について
3. 土地活用の検討にあたって
4. 今後の予定について



協議会の様子

## 2. 協議会の内容

第3回は、まちづくり目標の設定と今後の土地活用（自己利用含む）に向けてご自身の土地がどのくらい減歩されるのかイメージしていただくため、平均減歩率の算出方法や減歩の仕組みなどをご説明しました。

### (1) まちづくり目標

#### こや～よ！ 駅南

～みんなで つなぐ 住みやすいまち～



#### 【目標の考え方】

##### こや～よ！ 駅南

- ①主体性や発信力のある言葉であり、自分たちのまちに来てほしい、知ってほしいというポジティブなイメージ。
- ②来て欲しいまちにしていくという意識。  
=住みやすい、便利、魅力、活気
- ③地域コミュニティや行政、まちづくり組織とのつながり。

～みんなで つなぐ 住みやすいまち～

- ・地権者
- ・将来居住者
- ・駅利用者

・今のまちづくりで終わるのではなく、将来のまちへとつないでいく。

### (2) 必要となる公共施設整備の内容



#### 【主な公共施設整備の考え方】

##### 1. 駅前広場（約6,700㎡）

- ①将来乗降客数を20,000人と想定して駅前広場の面積を確保。
- ②通過交通を排除し、一般車と公共交通のロータリーを分離して配置。
- ③一般車のロータリー内に一時駐車場を設置。
- ④賑わい創出に資する広場空間を確保。

##### 2. 駅周辺の道路

現在駅周辺の道路は、生活道路と駅へのアクセス道路が混在しており、駅前広場の整備とあわせて道路の区分を明確化。

- ①土地区画整理事業予定地区内は、土地利用に応じた幅員で区画道路を配置。
- ②別府交差点の改良により、自動車と歩行者・自転車を分離して誘導。